

2015. 10. 19

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 213 号 ★★★

HUPO 理事選挙に関するご報告と山田先生、小松先生からのご挨拶

日本プロテオーム学会員の皆様

平素は日本プロテオーム学会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

HUPO2015 (9月26日～30日にカナダ・バンクーバー)で行われましたHUPO理事選挙の結果、国立がん研究センター研究所・山田哲司先生が、厳しい理事選の中、見事にHUPO理事に当選されました。また、プロテオミクスの地域・研究分野・ジェンダー等の多様性を持たせることを目的に設けられたHUPO理事(Diversity candidates)として、JPrOS/JHUPOからAOHUPO枠(2枠)に推薦いたしました小松節子先生(農研機構作物研究所)もHUPO理事として承認されました。

山田先生と小松先生からご挨拶が届いておりますので、以下に添付いたします。

以上のように、日本からの2015年(～HUPO2016大会終了日)HUPO理事は、山本格先生(新潟大学)、成松久先生(産業技術総合研究所糖鎖医工学研究センター)、山田哲司先生、小松節子先生の4名となりましたので、ここにご報告いたします。

この4名の先生方を中心に、日本のプロテオミクス研究を世界に発信していくことが重要と考えております。皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

日本プロテオーム学会事務局

日本プロテオーム学会 会員の皆様方

平成27年10月3日

先週バンクーバーで開催されたHUPO 2015でCouncil memberの選挙結果が発表されました。
(<https://www.hupo.org/2015/10/news/the-results-are-in-hupo-council-election-2015/>)

東地区（アジア・オセアニア地区）は3名の枠に10名立候補していたため厳しいと思いましたが、皆様のご支援のおかげで無事に当選することができました。
有難うございました。心より感謝申し上げます。

ご存知のように、来年の HUP0 2016 は台湾で行なわれます。

<http://www.hupo2016.org/>

例年より交通費が少なく済みますので、是非多くの演題を応募して、日本の存在をアピールできればと思います。

台湾には多くの知人がおりますので、微力ながら努力させていただきたく存じます。

国立がん研究センター研究所
創薬臨床研究分野 山田哲司

日本プロテオーム学会 会員の皆様方

平成 27 年 10 月 10 日

プロテオミクスの地域・研究分野・ジェンダー等の多様性を持たせることを目的に設けられた HUP0 理事 (Diversity candidates) として、JPrOS/JHUP0 から AOHUP0 枠に推薦いただきました。その結果、バンクーバーで開催された HUP0 2015 で承認されました。皆様の日頃からのご支援・ご指導のおかげです。ご推薦いただき心より感謝いたします。ありがとうございました。

農学分野のプロテオミクス研究者はまだまだ少ないのが現状ですが、本分野の質の向上と発展に貢献すべく努力していく所存であります。農学分野のプロテオミクス研究の存在感を、日本からアジアオセアニアさらに国際的にも発信していきたいと考えております。まずは、日本において地盤固めをしなければなりませんので、皆様のご指導・ご協力の程よろしくお願いいたします。

農業・食品産業技術総合研究機構
作物研究所 小松節子